

平成21年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）
事後評価結果

研究課題名	安全・安心の為のファイバセンサフ ォトニクスー光ファイバ神経網技術 の極限性能追求ー	研究代表者名 (所属・職)	保立 和夫(東京 大学・大学院工学 系研究科・教授)
-------	--	------------------	----------------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題では、安全・安心の為のファイバセンサフ
ォトニクスを実現することを
目的として、独自技術であるブリルアン光相関領域解析法（BOCDA法）の高度化に
向けた基礎研究と要素技術開発を行い、各項目について目標を十分に達成している。

応用についても、有用性の確認が行われるなど成果をあげた。

また、当該分野を超えて、周辺分野に応用可能なシミュレーション手法を開発する
など、関連学問分野への貢献も高い。応用実証実験についてもアピール力のある実験
を選択するなど、技術の普及に積極的に取り組んでいる。

幅広い実用化に至るにはもう一步の進展が必要であるが、全体として期待どおり研
究が進展したと評価できる。